

2016年4月1日

学校法人中西学園 次世代育成支援対策等行動計画

教職員が仕事と子育てを両立させることができ、働きやすい環境をつくること、取り分け、女性の活躍できる環境整備とその能力を十分に発揮できるようにするため、次の行動計画を策定する。

1. 計画期間 2016年4月1日から2021年3月31日までの5年間

2. 内容

目標 1 所定外労働時間の削減のための措置

<対策>

- ・労働時間に対する意識を変え、できる限り所定時間内に業務を終えるよう指導する。
- ・各部署内ごとに業務分析を行い、内容ややり方を見直す。
- ・業務の効率化を図るため、IT環境の整備や業務のマニュアル化に取り組む。
- ・管理職が所定外労働の分析を行い、所定外労働の際の届出・許可制を徹底させ、所定外労働を必要最小限に抑えるよう努める。

目標 2 年次有給休暇の取得促進のための措置

<対策>

- ・管理職が率先して教職員の意識を変え、取得しやすい雰囲気づくりを実施する。
- ・半日単位の年次有給休暇を有効活用し、取得率を高める。

目標 3 育児・介護休業法に基づく育児休業や時間外労働・深夜業の制限、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業等の諸制度の周知

<対策>

- ・パンフレットの掲示・配布に加え、相談窓口を明確にし、相談にきめ細かく対応できるよう環境を整備する。
- ・法改正についても迅速に周知できるように努める。

目標 4 女性活躍推進法に基づく、女性の就業継続と一層活躍できる
職場環境の維持、改善

< 対策 >

- ・ 仕事と育児を両立できる環境を維持、改善する。
- ・ 長時間労働の内容、実態把握と是正に向け、業務改善や年間業務を見据えた適切な配置を検討する。
- ・ 管理職に占める女性比率を向上させる。

数値目標：2020年度までに30%を目指す(2015年度21.7%)

取組内容：毎年度人事考課において基準の見直しを実施する。

- ・ 多くの女性が継続勤務できるよう働きやすい職場環境を維持する。
採用・在職ともに過半数を維持していく。

(2015年度 採用57.4%、在職54.3%)

育児休業後の復帰率100%を維持していく。

(2015年度 育児休業取得者7名)

目標 5 教職員自身のストレスへの気付き及びその対処と支援、職場
環境の改善を通じたメンタルヘルス不調等の未然防止

< 対策 >

- ・ 実施が必要な職場におけるストレスチェックを実施する。
- ・ ストレスチェックの結果内容で不利益な取り扱いをしない環境を設定する。
- ・ ストレスチェックの結果を集团的に分析し、職場内におけるストレス要因の把握と対策を講じることにより、職場環境の改善を実現する。

目標 6 出産時の父親の特別休暇取得を促進

< 対策 >

- ・ 就業規則に妻の出生時に取得できる特別休暇の規定があり、多くの教職員が取得できるよう促進する。